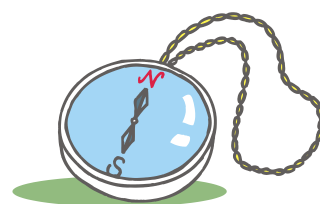


羅 針 盤

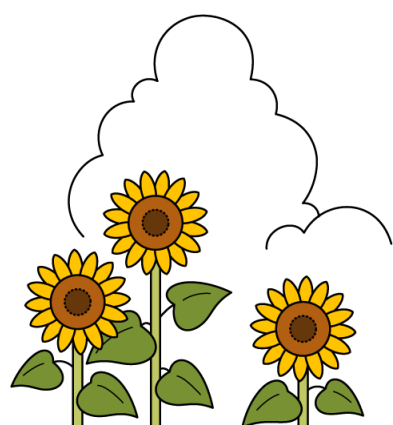
第 14 号

令和7年7月17日（木）



◆ 礼は往来を尚（たつと）ぶ

明日から38日間の夏季休業期間、いわゆる夏休みに入ります。昨年度よりも、一日早く夏季休業期間を実施します。日頃の学校生活での中心となっていた学習活動や部活動に限るのではなく、長期にわたる時間を有効に活用し、1学期にはなかなか時間をかけて取り組めなかったような内容にまで、是非とも生徒の皆さんにはチャレンジしてもらいたいと思います。だからと言って、忘れてならないのは、「当たり前のことを当たり前にする」ということです。中国の『礼記（らいき）』という書物に「礼は往来を尚（たつと）ぶ。往（ゆ）きて而（しか）して来たらざるは礼に非（あら）ざるなり。来たりて往（ゆ）かざるも亦（また）礼に非（あら）ざるなり。」という言葉があります。その意味は、「礼とは人と人との間の行動の基準のようなもので、それは往き来を尊重するものである。こちらが与えた礼なる行為に対して、相手から礼なる行為が返ってこないのは、誠の礼ではない。また、逆もそうである。」ということです。つまり、「挨拶」で言えば、朝登校してきて、「おはよう」と声をかけられたら、「おはよう」と返すことが礼儀であるということです。整理整頓をすることや、後片付けをすることも同じです。部屋に入るときなどにスリッパを使って、用が終わればきちんと元の位置に揃えて並べて返しておくといったようなこともそうです。始業式の日には、一人ひとりが自主・自立の確立に向けて、心掛けてほしい「挨拶ができる」、「人の話を素直に聴くことができる」、「ルールを守ることができる」という3つのことから『あ・ひ・る』が実行できるようにといったお話を、そして、「当たり前になすべきことを、決して馬鹿にすることなく、ちゃんと実行することが、できる人」であってほしいという『A・B・C・D』の法則を心掛けることについても、そのことを理解はしていても実際に実行に移さなければ全く意味のないこ



とで終わってしまいます。1学期の終業式を迎えた今日のこの日に、もう一度しっかりと振り返ってみてほしいと思います。そして、一人ひとりが責任ある行動をとって学校生活を過ごせたのかを自分自身に問いかけてみてください。明日から始まる夏季休業中も、この「礼は往来を尚（たつと）ぶ。」といった心掛けを忘れることなく、たくさんの有意義な時間を過ごしてもらいたいと思っています。2学期には、君たち一人ひとりの「大きく成長した姿」が見られることを大いに期待しています。健康には十分に留意して、元気な姿で、2学期の始業式にお会いしましょう。

明日より、38日間の夏季休業期間に入ります。長期にわたる夏休みとなりますが、ご家庭でも、健康には十分な注意を払いながら、子どもたちが規則正しい生活を過ごせますよう、ご指導をお願いいたします。また、2学期以降も引き続き、城陽中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参りますので、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。（校長 坂井伸治）

